

坂の民話 ⑫ 天狗に飛ばされた話

天狗城の周辺は、松茸のよく生えるところであった。
ある日のこと、一人の男が松茸狩りに行き、その日は他の山でかなりの量を探って、もう家に帰ってもよいと思いながら、まあ天狗城をまわって帰ることにしようと思い、他の山より峰伝いに歩いて行った。
ところが、岩肌に出たところで、ザーッと風ともいえず、松枝を振り動かしたような異様な音が、頭の上を横切った。振り向いてみても何も見えない。おかしいのう、と思いつつまた行こうとすると、ザーッと前のような音がする。

こうしてはおれん、早く家に帰ろう、と歩きかけたとき、ザーツという音とともに飛ばされて気を失った。
家では、暗くなっても帰らないので心配しておったところに、大怪我をして帰ってきたような。



また、ある日には、一人の若者が、松茸の生える時分、天狗城に登って、同じようなザーツと風とも何ともいえないような音を聞いた。一度だけでなく二度も三度も滑りこけて、足を怪我して帰った、という話もある。
これとまったく同じ目にあった人は他にもたくさんあるらしく、みんな天狗のしわざといわれている。
(昭和62年発行『坂の民話』より)

あたたかい
心のともしび

次の方々から、社会福祉事業資金としてご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。
(12月受領分・敬称略)

◎香典返し寄附者
菅 則子 (北新地二丁目)

よろこび
おめでとうございます
12月届出分 敬称略

三谷 笑葉 (坂東一丁目)
吉田 芽生 (坂東二丁目)
西田 彩楓 (坂西一丁目)
勝乘 淳登 (坂西三丁目)
松村 翠心 (平成ヶ浜二丁目)
重村 聖来 (平成ヶ浜二丁目)
山田 柚葉 (平成ヶ浜五丁目)

かなしみ
おくやみ申し上げます
12月届出分 敬称略

武内 勝三 (坂東二丁目)
吉森恵美子 (坂東四丁目)
大崎眞理子 (坂西一丁目)
菅 正明 (北新地二丁目)
二井矢道明 (北新地二丁目)
岡本三勇子 (横浜西一丁目)
畝 幸子 (植田二丁目)
奥谷ヨシ子 (植田二丁目)
川上 紘 (植田四丁目)
山田 伶俐 (植田四丁目)
二艘木シズコ (水尻)
中須賀良一 (小屋浦二丁目)

このコーナーに掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

今月の休日当番医

日付	坂町・熊野町	府中町	広島市安芸区	海田町
2日 (日)	小坂内科医院 ☎885-0108	向洋駅前心療クリニック ☎286-2335	浜田医院 (内科・小児科) ☎888-0233	深坂内科循環器科 ☎823-0588
9日 (日)	おかだ眼科 ☎855-6633	唐崎耳鼻咽喉科 ☎284-0333	クリニック福本リハビリ 整形外科 ☎888-1575	南海田病院 (外科) ☎823-8855
11日 (火・祝)		しみずハート内科クリニック ☎283-8010	向井内科・脳神経内科 ☎888-1110	みぞて眼科 ☎821-2601
16日 (日)	だて耳鼻咽喉科クリニック ☎884-4133	行徳皮ふ科アレルギー科 ☎287-1560	行武医院 (内科・放射線科) ☎888-5577	しらね泌尿器科クリニック ☎821-1900
23日 (日・祝)	まきこ眼科クリニック ☎855-6022	向洋こどもクリニック ☎287-3266	安芸市民病院 (内科・外科・小児科) ☎827-0121	こころのクリニックひまわり (心療内科・精神科) ☎847-3111
24日 (月・振休)		やまだ眼科 ☎287-2123	松石病院 ☎823-0003	おおや耳鼻咽喉科 ☎821-3387

受診を迷うときは、#8000子どもの救急電話相談(平日19時から翌朝8時まで、土日祝17時から翌朝8時まで)、#7119成人の救急電話相談(24時間365日)もご利用ください。

今月の納税

口座振替日 2月26日(水) 納期限 2月28日(金)
口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします。
固定資産税……………第4期分
国民健康保険税……………第8期分
介護保険料(1号)……………第11期分
後期高齢者医療保険料……………第8期分

坂町の人口と世帯

(1月1日現在)
男：5,998人 (前月比-14)
女：6,500人 (前月比-15)
計：12,498人 (前月比-29)
世帯数：5,797世帯 (前月比-16)

坂町文化協会団体の紹介

第11回

広島民踊協会花野教室花組

花野教室花組は、広島県民踊協会に属し、協会の副会長であった師範(故)花野 広幸先生に師事し、発足から50余年が経過しました。町内の多くのイベントへの参加や福祉活動、町内外の老人ホームへの慰問などを通じ、みなさんが喜んでくださることを大変嬉しく思っています。
また、広島の最大イベントのフラワーフェスティバルでは、100メートル道路を踊りながら行進し、ステージでは、汗を流しながら楽しく踊りました。多くのみなさんとの輪を大切に、「いつまでも健康であるように」と願いながら活動を続けています。
これからは、日本の伝統芸能である日本舞踊を、次代に残していけるよう、頑張りたいと思います。

